

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	平成27年8月5日（水） 午後2時 ～ 午後4時
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：柳下佳仁会長、熊木正好副会長、吉田洋市委員、高木宏友委員、田島せつ子委員、中山忠委員、川島修委員（7名出席） 欠席者：加藤大明委員、米田剛行委員、梅村清委員（3名欠席） 事務局：協働推進部環境担当部長、環境課長、環境課主査（環境保全グループ）、環境課主任（環境保全グループ）、委託調査会社（5名出席）
議 題	(1) 武蔵村山市第二次環境基本計画策定に係る答申（案）について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：武蔵村山市第二次環境基本計画策定について審議した。審議した結果、出された意見については、答申案に反映を行い、次回の審議会で協議を行う。 また、第二次環境基本計画（案）についても、提示し、次回議論を行う。策定スケジュールについて、修正を行い、再度提示する。次回は、9月28日15時～開催する。 議題2：年次報告書について、半年以内に報告できるよう努める。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (○=委員、 ●=事務局等)	議題1 武蔵村山市第二次環境基本計画策定に係る答申（案）について 【説明要旨：武蔵村山市第二次環境基本計画策定スケジュール、武蔵村山市第二次環境基本計画の策定について（答申）（案）を参照】 【主な意見等】 ○策定スケジュールについて、平成27年度の環境基本計画に関する報告はいつまとめるのか。 ●10月以降の早い時点で、まとめたいと思っている。 ○その結果を受けて、環境基本計画へ反映する必要はないのか。 ●年次報告の結果の反映はしていきたいと思う。反映については、次期委員へご意見をお願いする予定である。 ○10月以降にあわせて、審議をしていくということによいか。 ●今回のスケジュールや答申とそれに関する以降のスケジュールだが、年次報告は別途審議いただき最終的に反映していきたいと思っている。 ○基本計画が出て、そのあと年次報告書が出て、年次報告書で施策や目標が展開される。答申案でポリシーを出されているが、各論への展開は昨年の年次報告書と違うものが出てくるのか。それとも平成25年度と変わらない形で出てくるのか。総論に関しては、意見を多く反映していただいたのでいいものだと思う。このあたりの内容が各論の中でどのように反映されるのかが気になる。うまく総論に基づいた各論構築や目標設定、施策につながっていくと考えたいがどうか。 ○これは総論であり、今後各論が出てくるかと思うが、それが9月に出てくるといいのか。 ●まず、年次報告書は大幅に変わるかということ、そのようなことはないだろうと思っている。環境課の方で調査している大気や騒音の数値はそれほど大きく変わることはない状況である。平成26年度の年次報告書で環境が悪化するわけではないので安心していただければと思う。 ○変わるのも大変だが、全く変わらないのもどうか。第二次環境基本計画

の初年度になることになると思うが、答申案に基づいた先を見た計画にしてはどうか。これまでやってきたことで簡単に変えることはできないものもあると思うが、方針に基づいて、変えていかなければならないもの、意志のところは施策や取組は変えていっても良いと思う。

○平成26年度は前回の計画で年次報告書は出されると思うが、平成27年度以降の施策は具体的にどうなっているのかという質問である。当然変わると思っているが、その方向性は見えているのか。

●平成26年度の年次報告書は現行計画に基づいて評価する。皆様をお願いしているのは平成28年度からスタートする第二次環境基本計画についてお願いしている。現行計画は平成27年度末までである。

○その方策はいつの時点で出てくるか。

●皆様からの答申をいただいてから、市で検討を行う予定である。

○それでは9月には案は出てこないのか。

●第二次環境基本計画策定を行うために、皆様から答申をいただき、それに基づいて環境基本計画を策定していく。

○この答申書では細かいところが見えてこないというご指摘かと思う。

○総論としては良いが各論は気になる。色々いただいている資料（基礎報告書P18）を見ていると、本当に大丈夫か心配になってくる。統計表をみると、東京都のものしかない。市の施策を検討する場合に、どう検討するのか不安になってくる。

●そちらに記載しているデータについて、資料の出典は東京都だが、データは市のデータである。

○基本計画の答申のことが議題だが、それ以降の各論は次の委員にあずけることになるかもしれないが、心配なので質問させていただいた。

○答申案について、「協働」という言葉を使われているが、これで良いのか。市と市民と事業者が協働するということだが、このような言葉はあるのか。協力して進むということはあるが、「協働」という言葉づかいとしてあるのか。

○担当課も協働推進部ですし、これは一般的な言葉で、目的に向かって一緒に進んでいくということだと思う。

○今まで、「3R」という表現だったと思うが、「4R」になっている。また、「リフューズも」一般的な言葉なのか。

●かつては「3R」といわれていたが、最近「リフューズ」という言葉が出てきた。過剰包装の拒否やマイバックの持参などを背景に言葉が出てきた。総合計画の後期計画においても、「3Rを推進」から「4Rを推進」にしていくこととしている。

○「4R」は一般的な言葉か。またその記載の順番について調べてほしい。

●東京に限らず、他の自治体でも出てきている言葉である。

○順番も、リフューズが最初に出てくるのか。英語的にいくと、非常にリフューズはネガティブな言語な気がする。

●考え方としては、ごみを減らす一番効果的な言葉から並んでいるということだと思う。国や東京都の資料も確認したいと思うが、ごみに関して、環境の負荷の少ないものから並んでいる。つまり、リサイクルは環境にはよいがその過程でエネルギーを使うので、リサイクルよりはそのまま使うリユース、リユースよりはごみ自体を減らすリデュース、ごみ自体を発生させないリフューズという流れになっていると思う。

○基本計画の総論について、前向きにとらえて書かれているが、安心して暮らすという視点も重要である。安心という視点から考えると環境規制、環境基準を守って、外れた場合は厳しく対応していくということが重要である。守っていくということは、しっかり厳しく対応していくと

ということだが、ディフェンシブのところ弱いのではないかと思う。そこは生活環境の保全に入れてはどうか。前回もダイオキシンの話をし、その後、場所を調べた。基準値を超えていたのはダイエーの横である。ダイエーの駐車場の横になる煙突から出ているのが、あのような値というのは考えるとところがある。ですので、基準をしっかりと守り、基準が守られない時は、しっかりと指導していくというそのような厳しい姿勢についても盛り込んでほしい。

●基本計画の答申にあたっては、P2の生活環境の保全のところに加筆させていただければと思う。また、前回の会議資料の中では、施策の方向性案の中の生活環境保全について、詳しく記載していきたいと思う。

○P2の文書の中で、「一部基準を超えている箇所が見受けられます。」と記載されているところがあり、「定期的な調査を行い、国や都と連携しながら、環境基準の遵守と維持を着実に推進していくことが重要です。」と言っているが、「重要です」ではなく、もう少し、意志を見せてもよいのではないか。しっかりと守っていくという意志を見せてほしいかと思う。

●「重要です」、「必要があります。」という言葉で終わっているのので、「必要がある。」などの言葉にしてはどうか。

●こちらの答申案は、会長から答申としていただくものである。基本計画の中では、厳しく指導するというのを記載していくが、答申文としてどのような言葉づかいにしていくのかは検討が必要である。ご指摘の意図はよく分かる。

○各論に入る時に、今のご意見がメモとして残って伝わっていかねばならないので、どこかに補足として記載してほしい。

●規制を行う立場のものに対して、しっかりとやってほしいというご意見かと思うので、しっかりと適正にやっていきたいと思っている。

○委員からの答申ということであっても、安全・安心の観点からこういうことをしっかりとやっていくべきだということを記載していただきたい。

●受け止めさせていただき、整合性も考慮しながら盛り込めるところは盛り込んでいきたい。

○具体的な方策については、次に出てくるのか。

○環境基本計画の施策については、審議会の意見や庁内関係部署と協議されていると思うが、平成26年度の年次報告書を総合的に受けた中で、平成28年度の環境基本計画の案はいつごろまとめるのかということになる。スケジュールとして、今回は、今回の意見を受けて修正案が出てくる程度かと思う。11月の答申の際に、基本計画として案が出てくるということか。それとも2月にパブリックコメントを予定されて、意見を受けて検討されると思うが、11月の答申はこの意見のみで答申書になるのか、計画の施策も盛り込まれた形で答申となるのか。

●11月の審議会には、基本計画の案を出す予定で準備を進めている。

○施策も入っている状態か。

●そうである。

○それは11月に出るのか。それでは、9月は何を議論するのか。答申案については、本日で議論が終了するのではないか。

●次回の9月に何を議論したらよいのかというご指摘について、当初は11月に年次報告書を踏まえた上で案をお示ししようと思っていたが、年次報告書を踏まえることはできないが、計画原案をお示しして、ご議論いただくことはできるかと思う。

○我々としてはそうしていただきたい。第二次環境基本計画の原案をお示しいただき、ご意見を聞いて、次の議論をする資料の糧にさせていただければ、みなさんも納得するのではないかと思う。答申としては総論で良

- いので、具体的な中身が分からないと議論できないかと思う。
- 確認だが、次回は計画案が出てくるということか。
 - 前回、重点的な経過もありますし、どこまでできるかはあるかと思いますが、よろしいでしょうか。
 - 答申案については、他にご意見はいかがか。
 - 間違いではないが、文章的なことをいくつか指摘したい。まず、答申にあたっての箇所です。市、市民、事業者の責務について、中ほどでは市と全ての市民および事業者として記載されており、下から4段目には市民、事業者、市という順番になっている。市、市民、事業者の流れで統一した方が分かりやすいのではないかと思う。
 - P1の1.の下から4行目について、「そこに向けて計画の策定・推進していく」とあるが、「計画の策定を推進していく」のか、言葉を直した方がよいと思う。
 - (1)の「」の使い方について、「エネルギー」という言葉で強調したいという意味かと思うが、必要かどうか精査していただきたい。
 - P2の上段の2段目から3段目にかけて、「また」という接続詞が2回続いているので、整理した方がよい。
 - P3の4行目、「今後も着実に実現に向け一歩ずつ」について、人によって受け取り方が違うかもしれないが、「今後も実現に向け着実に一歩ずつ」か、「着実に」は後ろの方が良いのではないか。検討いただければと思う。
 - P3(4)2行目の「より一層、」の「、」はいらないのではないか。その下の、「取組の支援をしていく」は「取組を支援」としてはどうか。
 - (5)3行目、「みどりの基本計画」などの個別計画名については「」を付けた方がよいと思う。
 - P5の5.計画の効果的な推進の2行目で、「庁内では」の「は」はいらないかと思う。
 - P6の箇条書きの2つ目のモノレールの最後の行について、「通念」は「通年」であろう。また、「温暖化を失くしていく」という表現について、意味は分かるが、表現は変えた方がよいかと思う。
 - ありがとうございます。
 - 以上指摘を踏まえて、文章を精査していただければと思う。
 - このグループで答申して、次の委員がまた答申するのか。
 - 総論を答申するのが審議会の役目である。ただし、答申案だけだと分からないので、計画の素案でもよいので9月にご説明くださいということである。
 - パブリックコメントは答申案なのか。
 - パブリックコメントは計画案を提示する。
 - 答申は、このような計画をつくりなさいという意見をいただき、それに基づき市が計画をつくる。という流れになる。その策定経過の中で、パブリックコメントで市民の意見をいただき、計画を策定していくということである。
 - 新委員になってから詳細計画案ができ、新委員で意見をいただき、パブリックコメントに入っていくということか。
 - 審議会から答申をして、それをもとに市は計画案をつくる。そのあと、案ができたところで、審議会で審議し、その後、パブリックコメントをもらい、その対応を行い、今年度中に計画を策定するということでのよいか。
 - 提案だが、本日の資料の想定する策定スケジュールは、11月は「策定に係る答申について」となっているが、11月に計画の策定の審議を行

うということだと思うが、それが抜けているので、その予定を入れておくと良いのではないか。

○答申書のスケジュール表と策定スケジュールと、少し書き方が異なっている。「答申書（案）」には、「計画（案）について」と記載されているので、その部分が抜けているのだと思う。本日の策定スケジュールでは、基本計画をどこでつくるのかというのは明確になっていない。

●本日差し替えをさせていただいたスケジュールについては、ご指摘をいただきましたので、11月予定の部分について加筆して差し替えさせていただきたいと思う。

●次回の審議会では、いただいたご意見を踏まえて答申案を作成し、ご確認いただくとともに、実際の計画の個別施策が分かるような資料を準備するということが良いか。次回の予定について、委員のみなさんのご予定をお伺いしたい。

○28日の15時から開催することにしたいと思う。

●それでは、それまでに修正および再確認を行うとともに、環境基本計画の基本的な施策についてどのようなものがあるかをお示しし、ご意見をいただければと思う。

議題2 その他

【説明要旨：口頭で、前回の審議会での出された個別計画についての目標設定の根拠について説明を行った。】

○年次報告については、できれば上半期くらいにまとめてはどうか。そうしないと、PDCAがまわっていかないのではないかと思う。

○それは、以前からの懸案事項だったと思うので、ぜひご検討していただきたいと思う。

●ご指摘の通りだと思うので、できれば半年以内に年次報告を作成し、ご意見をいただけるよう資料作成に努めたいと思います。

○個別の施策をつくるときに、例えば、「一般廃棄物処理基本計画」等の個別計画があると思うがこの施策はこの個別計画に掲載されているということを明確にしていればと思う。最近、国が温室効果ガス排出量の削減目標を出した。家庭では、40%削減ということを出している。武蔵村山市の取組をPRできるようなことを推進してはどうかと思う。

○今のご意見は受け止めて検討いただければと思う。

●地球温暖化対策実行計画も年次報告はあるが、こちらも遅れているので、資料作成に努めていきたいと思う。

○総合的に目配りするような計画としていかないとなかなか難しいのではないかと思う。

○武蔵村山市環境基本計画に関わってきたが、他の市も策定しているのか。これらは何に基づき策定を行っているのか。

●各市で条例を定めて、計画を策定している。もともと、環境基本法ができて、基本条例を制定し、各市で計画を策定している。

○他市の進捗は同じ状況なのか。頑張っている市や頑張らなければならない市などはあるのか。国立市は進んでいるような気もしているが、現状把握として捉えられているのか。

○環境マネジメントシステムでは長野県飯田市が一番早かったと思う。企業と一緒に内部監査もして進んでいる。

○東京都は建築事務所と同様に、この辺りだと武蔵村山市や立川、瑞穂町は、細かいダイオキシンなどの問題は多摩環境事務所が所管していて、そこから市は情報をもらわないと分からない状況である。三多摩、旧北多摩で連合会などの横のつながりはあるのか。

●26市で年8回会議をもって、東京都が主催し、会議を行っている。

	<p>○公園を広げることで、二酸化炭素をどれほど固定できるのかという話もある。使った分だけは植林などを行う、カーボンオフセットなども市として考えてはどうかと思う。</p> <p>○貴重なご意見をいただきました。よりよい答申ができるように次回もよろしくお願ひしたい。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p>	<p>傍聴者： _____ 0 人</p>
-------------------------	--	-----------------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：) </p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>協同推進部環境課 (内線： 295)</p>
--------------	---------------------------

(日本工業規格A列4番)